



花束をくれた後輩に「ありがとう」。別れを惜しむ涙も、最後は笑顔に



我が子の晴れ姿をカメラに収める保護者

湯前中学校卒業式 大好きな故郷を 誇りに

故郷を誇りに、学び舎を巣立った卒業生たち



湯前 前中学校（古家慎也校長）の第72回卒業式が3月10日に同校体育館で開かれ、卒業生38人が恩師や仲間との別れを涙ながらに惜しみました。

吹奏楽部の演奏が始まり、会場にかけつけた保護者、後輩らの拍手を受けて卒業生が入場。一人ずつ壇上上がり、担任の原口寛文（ひろふみ）先生から名前を呼ばれると、大きな声で返事をし、古家校長から卒業証書を受け取りました。

古家校長は「伝統を受け継ぎ、学校を引っ張る姿は立派だった。湯前中の卒業生として送り出せることを誇りに思う。視野を広げ、世の中の人々に貢献することを喜びと

感じられる人生を送ってほしい」とエールを送りました。

門出の詩では、卒業生が、体育祭や文化祭、部活動など、3年間の思い出を発表。恩師や家族、後輩らに「ありがとう」と涙ながらに感謝の言葉を伝え、後輩も「今までありがとうございました」と涙を流し、別れを惜しみ合いました。

卒業生は「大好きな、湯前を誇りに、未来に、優しく、たくましく、力強く生きていきます」「湯前中で過ごした3年間は一生涯の宝物。38人、それぞれの花を咲かせます」とメッセージや歌で決意を新たに、後輩から一人一人花束を受け取って、3年通った学び舎を巣立ちました。

湯前 前保育園（東理絵園長）の卒園式が3月16日に開かれ、卒園児16人が慣れ親しんだ保育園に別れを告げて、新たなスタートを切りました。

卒園児が壇上になると、会場のスクリーンには一人ずつ園内での思い出の写真が映され、両親や兄弟から「のびのび育ってくれてうれしい。大好きだよ」「一緒に小学校で遊ぼうね」などと温かい音声メッセージが添えられました。

東園長から保育証書を受け取った園児は花道を歩いて家族の元へ。「大きくなったら野球選手になります。お母さん、お父さんありがとう」などと将来の夢と今までの感謝を伝えて証書を手渡し、笑顔で抱き合ったり、ハイタッチを交わしたりして、喜び合っていました。

東園長は卒園児をヒマワリの花にたとえ「家族の愛情という栄養をいっぱい注がれて大きくなった。将来に向かって、一人一人違った、素敵なヒマワリの花を咲かせてほしい」とあいさつ。その後、卒園児は運動会や発表会など思い出を季節ごとに発表。会場中が驚くほど元気な歌声を響かせ、保育士たちも立派に成長した園児の姿に感動の涙を流していました。

保育証書と一緒に感謝の気持ちを渡した園児たち



湯前小学校卒業式 変わらぬ愛情、これからも

菅原校長は「一生懸命頑張る姿が立派だった。たくさんの人に『ありがとう』が言える思いやりや感謝の心、あきらめず努力する心を中学校で身に付けて。湯前小で培った豊かな心に磨きをかけ、命を大切に輝いてほしい」とあいさつ。「門出の詩」では卒業生が6年間の思い出を発表し、保護者に「変わらぬ愛情で見守ってくれてありがとう。家族が大好きです、これからもよろしくお願いします」とお礼を伝え、教師、来賓の方に



1 将来の夢を堂々と発表し、卒業証書を受け取る卒業生 2 教師や来賓にも体を向けて、感謝を伝えた

も体を向け、深々とお辞儀をして感謝を伝えました。会場には一学年先輩となる湯前中学校の新2年生もかけつけて卒業を祝福。小学校の後輩たち一人一人のメッセージも飾られています。

湯前保育園卒園式 大きな声で「ありがとう」

保育証書と一緒に感謝の気持ちを渡した園児たち

